

令和5年度自己評価結果公表シート

作成 認定こども園ひまわり幼稚園

1. 本園の教育目標

「おおらかにたくましく」を理念とし、子どもの主体性を大切にした保育の中で心身ともに健康な子ども・未来に期待を持てる子ども・感性豊かな子どもを育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育の振り返りや会議の進め方や時間、回数を見直しを行う。
積極的に研修を受講し、保育者としての資質向上に努める。
子どもたちの多様な遊びを引き出すための環境を整える。
学んだことを正しく理解し、保育に繋げていく事を継続する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

分類	平均点	取り組み状況
保育の計画性	74.9	・時間を区切った会議を全体、学年、個別に分かれ、振り返りを中心に行い、遊びこめる環境構成や発達段階に応じた玩具を整えている
保育の在り方・子どもへの対応	82.3	・健康と安全に配慮し、子どもと積極的にかかわり新たな発見やつぶやきを拾うことを意識した声掛けをおこなう
保育者・社会人としての資質・能力・適正	83.7	・専門家として子どもの姿や発達段階について理解したり、保育をする上で、自身や園児、保護者の安全を意識している
保護者対応	73.6	・クラスだよりやInstagramで園の様子の発信をおこなったり、保護者と対応する際には保護者が伝えたいことをしっかり聞くことに努めている
研修と研究	73.7	指導計画や環境構成など、様々な分野の研修や研究保育に参加し、保育者としての知識や技術を身に付けていくよう努めている

4 . 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもの主体性を大切にすることを職員全体で心掛け、興味や関心のある遊びをどんどん取り入れることができるような環境を整えた保育を行うことによって、次への期待が持てる子どもたちの姿が多く見られた。様々な研修、研究に参加して学んだことや保育のことをさらに情報共有していくことに努めているところである

5 . 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の質の向上への取り組み	引き続き、主体性を大切にした保育を目指した環境構成をおこなう。また、異年齢児とのかかわりを増やして思いやりの心や自分の気持ちを伝えることができるよう心がける。また、ドキュメンテーション等を通して保育の可視化をおこない情報共有をして個人の成長を追うことにもつとめる。公開保育や園内研修をおこない様々な意見を自身の保育に生かすようにつとめる
地域とのつながり	未就園児対象の園庭開放や親子体操の年間の予定を掲示以外にホームページやInstagramなどで広く知らせる。また、地域の方を対象にバザーやマルシェを企画して積極的に地域とのつながりを持つようにする。
園内環境の整備	園庭の遊具が新しくなったので安全な使い方を保育者が理解するとともに子どもの遊ぶ様子を観察した上で毎日の安全点検の場所や内容の見直しをおこなう。また、保育室内や廊下などは、掃除と同時に危ない箇所が無いかをチェックをし、危険箇所を回避できるようにする
教職員間の共通理解、働きやすい環境	メンター・メンティー制度や休憩場所を作って話しができる機会を設けて不安や悩みなどを少しでも解消できるようにする。担任とフリーが参加しやすい時間に打ち合わせや会議をおこない、話し合った内容は記録し全員が閲覧できるよう情報共有を徹底する。

6 . 学校関係者の評価

コロナ前の日常、保育を取り戻す中、以前のことに捉われず、子どもの主体性を尊重し意欲や興味、関心のあることを引き出せるような環境整備をし、柔軟に丁寧な保育ができていると判断できる。今後も情報の発信や共有を工夫、徹底し、更に向上されることを期待する。